

事務事業名	電算セキュリティ対策事業	所属部	総務部	所属課	情報システム課	
総合計画体系	政策名	〈I〉みんなで築くまち「協働・行政経営」	所属G	情報システムG	課長名	門脇 史明
	施策名	〈05〉時代にあった行政サービスの実現	担当者名	福本 琢也	電話番号	0854-40-1101 (内線) 4700
	目的	対象 A)市民 B)行政機能 意図 公平で効率的なサービスを受ける(提供する)。	会計	款	大事業	大事業
	基本事業	〈012〉業務と組織機構の効率化	予算科目	0:1:1:0:0:1	0:1	0:1
目的	対象 行政機能 意図 効率的な組織機構で効果的な行政サービスを提供する。		項目	中事業	中事業	電算総務管理事業
				0:5:5:0:0:1	0:1	電算総務管理事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
・パソコン ・職員等	・ウイルスに感染しない状態を保つ。 ・セキュリティに対する意識の高揚を図る。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )	情報資産の適切な管理のため、各種情報セキュリティ対策を施す。 ウイルス対策ソフトの更新、セキュリティ意識の向上を目的としたeラーニング等の活用による職員研修、パスワードの更新、マシン室の入退室管理、情報セキュリティ監査など
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
ウイルス対策ソフト等のセキュリティ対策製品のライセンス更新、eラーニングによる職員を対象としたセキュリティ研修の実施、パスワードの更新、マシン室の入退室管理	・地方公共団体情報システム機構事業の積極的活用 ・情報セキュリティ内部監査の実施 ・対策用ハードウェア、ソフトウェアの更新

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 脅威イベントの検出	件	0	3	0	0
イ セキュリティ事故の発生件数	件	0	0	0	0
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)		② コストの推移				
	財源内訳	単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
【委託料】 ウイルス対策ソフトパッチ適用 880千円 【使用料】 ・無害化サービス使用料 9,101千円 ・セキュリティ向上PF使用料 150千円	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	4,503	8,511	10,131	10,902
事業費計		千円	4,503	8,511	10,131	10,902

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	世界的に、Emotetに代表される情報漏洩に関する脅威が増しているが、本事業で導入しているサービスやソフトウェア等の利用により、セキュリティは保たれている。 eラーニングの活用により、職員の意識レベルの向上を図っている。
② 事業実施するうえでの課題	個人情報の漏えいは個人のプライバシーや財産に対する損害を生じさせる可能性があり、また一度流出した情報を回収することは事実上不可能となる。一旦失った信用を回復させることも大変な努力が必要である。 そうならないためにも職員のセキュリティ意識のレベルの向上を図る必要がある。また、毎年実施している情報セキュリティ監査も必要に応じて内容を見直す必要がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	eラーニング等各種セキュリティ研修を職員が受講することにより、セキュリティに対する意識レベルが向上するため、年次的な職員の受講計画表を作成し受講者の拡大を図り、職員のセキュリティ意識の更なる向上を目指す。